

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念がつくられ、その人らしく暮らしていくことを支援しているが、一部現状に適さなくなっている。	○	地域密着型も含めた理念の一部見直しを検討してほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に理念を全員で復唱している。また、管理者は理念の「利用者一人ひとりの人権と個性、思い出を大切に・・・」と視点を変えた取り組みなど、日々職員に話し職員と理念を共有し取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、ホームの行事に参加を働きかけてはいるが交流するまでには至っていない。	○	管理者は地域に「グループホームを理解してもらおうことと、地区行事等に関わりを持ちたい」との構想を練っており実践されることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は職員全員で取り組み、日常のケアを振り返る良い機会となり、前回の改善点についても全員で具体的に話し合い、目標を挙げて取り組み、有効に活用されている。		

宮崎県日南市 グループホームわかば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2か月に1回開かれている。メンバーは区長、民生・児童委員、地域包括支援センター、健康長寿課職員、家族代表、隣人、管理者となっている。利用者や行事等の報告、徘徊や交通事故などの取り組み等の話し合いが行われている。回覧板も回してもらえるようになった。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営規程の改正について、市の担当課まで相談に行く等、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に状況を報告したり、ホーム便りを渡している。金銭は一人千円程度預かり、金銭出納帳で出納内容を明確にし、家族に確認のサイン、または押印をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時に意見、要望などを聞き、ホームの運営等に生かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が退職したり異動があった時は、利用者から尋ねられたら、新しい職員は信頼できる人であることを説明し、安心した対応をするように努力している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員が平等に研修を受ける機会をつくる予定である。現在、研修受講後の復命書は提出されていても、他の職員に報告はされていない。	○	研修後報告の機会や復命書を回覧するなどして、職員全員に周知、共有できるようにしてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は地域の同業者と相談、訪問などしている。		同業者とネットワーク作りをし情報交換や勉強会などに取り組むたいとの意向があり、実現できることを期待したい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の生活習慣等をよく知り、本人の希望や家族の協力も得ながら、ホームの雰囲気になじめるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は介護するだけでなく、利用者から言葉かけや、楽しい雰囲気づくりなどを学んだり、励ましてもらったりと、共に支え合う関係を築いている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントシートを使って、本人の心身の状態、生活習慣、趣味、本人の希望や意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の希望や家族の要望を聞き、担当者会議を行ってから介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングは毎月1回、介護計画は状態変化に応じた見直しと、3か月に1回本人、家族の意見を取り入れ、担当職員と話し合いのうえ、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制のもと、24時間健康管理を行い、本人や家族の状況により病院受診など支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かりつけ医師との連絡を密にし往診をお願いしたり、皮膚疾患など家族に連絡し適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携加算時の重度化した場合の指針を説明し、同意書に署名・捺印をいただいている。		家族会を発足させ、重度化した場合など話す機会を持ちたい意向があり、家族会の発足を含め期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホームの理念である「一人ひとりの人権と個性を大切に」と利用者の誇りやプライバシーに配慮していることが、職員が利用者に対する言葉かけや態度、個人情報の取り扱い等からうかがえた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりに応じた食事や入浴時の声かけを工夫し、職員同士協力し合いながらその人のペース、希望に沿った支援を心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛りつけや後片づけ、台ふき、お盆ふきなどを手伝ってもらいながら、利用者と職員と一緒に楽しく食事をするようにしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日でも入浴する人、入浴を嫌がる人も、2日に一回は、気持ちよく入れるように働きかけ、入浴を楽しめるような配慮をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味を生かし、菜園を楽しむ人、洗濯物たたみ、習字や脳の活性化など皆で楽しく取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩には毎日出かけ、時には道の駅やうどんを食べに行くなど、できるだけ外に出かける機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の手薄な時は、短時間、玄関の施錠を行っているが、日中は鍵をかけないで職員が常に利用者を見守っている。外に出られるときには一緒に散歩するなど誘うようにしている。		

宮崎県日南市 グループホームわかば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回防災訓練と夜間の火災等を想定した避難訓練を実施しており、消火器の操作法や避難経路などの確認を行っている。		今後は地域の人にもお願いし、協力を得られるように働きかけを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院の栄養士が作成した献立表を基に調理しており、一人ひとりの食べる量、栄養バランス、水分摂取量は確保されている。		時には利用者と買物に行き、利用者が食べたい食材を選んで一緒に調理したいとの意向もうかがえ実践されることを期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るいリビングには、ゆったりした大きなソファや畳敷きもあり、利用者が集まり、団らん場となっている。ろうかには天窓からの採光と、落ち着いた色彩の絵が心を和ませている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	見せていただいた居室には仏壇や文机が置かれ、写真や花が飾られていたが、以前使用されていたなじみの物品などの持ち込みが少なく、落ち着ける場所とは言い難い。	○	利用者の「さみしい」とのつぶやきを聞き、居室に、使い慣れたなじみの物が置かれ、落ち着ける場所となるように家族に働きかけをお願いしたい。

※  は、重点項目。